

機械器具 51 医療用嚔管及び体液誘導管

管理医療機器 ネラトンカテーテル JMDN：10734000
＊（管理医療機器 腸管用チューブ JMDN：35415020）
（管理医療機器 気管支吸引用カテーテル JMDN：31249000）

ザヘルス シリコンネラトンカテーテル

再使用禁止

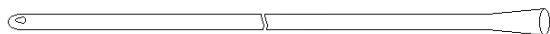
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

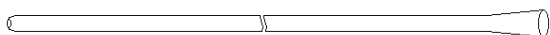
【形状・構造及び原理等】

本品は膀胱に挿入し、導尿、採尿、膀胱洗浄を行なうためのカテーテルである。先穴、側孔を有しており、穴数、形状等の違いにより各種のタイプがありシリコンゴムを使用している。

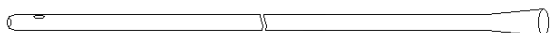
標準型（ネラトン穴）



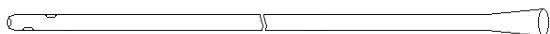
A型（先穴）



B型（先穴1、側孔1）



C型（先穴1、側孔2）



【性能、使用目的、効能又は効果】

＊膀胱に挿入し、貯留した尿を導尿、採尿、膀胱洗浄を行なうためのカテーテルである。直腸に挿入して液体の除去及び排気に使用される場合もある。または口腔、鼻腔、咽喉、喉頭の気道における分泌物の吸引用に用いられる場合もある。

＊【品目仕様等】

引張強度 外径 3.3mm以上：1.0 kg
外径 3.3mm未満：0.75 kg

【操作方法又は使用方法等】

- ・本品は未滅菌品である。必ず高圧蒸気滅菌（121℃、15分間）または医療機関で使用されるエチレンオキシドガス滅菌装置により、EOG滅菌（450～1000mg/L濃度のエチレンオキシドガスを使用、滅菌2時間 70℃未満、加湿下、エアレーションは使用前まで24時間以上70℃未満）を行った上で使用すること。
- また、両方の滅菌方法とも、インジケータ等を用いて滅菌効果を確認しながら実施すること。
- ・1回限りの使用で使い捨て再使用してはならない。

導尿としての使用方法

1. 滅菌手袋を装着した右手でカテーテルを持ち、キシロカインゼリー等の潤滑剤を滅菌ガーゼに載せて、カテーテル先端からシャフト部分に十分塗布する。
2. 男性患者の場合は、仰臥位をとらせ、陰茎を立たせるように持ち上げて、そのまま保持しながらカテーテルを外尿道口から挿入する。
3. 挿入は、尿道の長さ（男性：16～20cm、女性：約4cm）を目安に、ゆっくり進める。その際、かん子を使用してカテーテルを保持しても良い。

4. カテーテル先端が膀胱内に進入したら、採尿瓶や採尿バックを用いて尿を採尿する。

＊直腸用としての使用方法

1. 腸内洗浄液の選択並びに1回投与量、時間及び回数など洗腸方法については、医師の指導に従うこと。
2. 洗浄液（約37℃）をイルリガートルに投入し、カテーテルまで充填し、クレンメで止める。
3. カテーテル先端部分の適切な長さを経肛門的に（人工肛門含む）挿入し、腸内洗浄液の注入、洗浄及び排水を繰り返す。

＊分泌物吸引用としての使用方法

1. 手指を洗い、プラスチックグローブ、ビニールエプロン、サージカルマスクを装着する。
2. カテーテルの接続部を持ち、吸引チューブと接続し、せっしでカテーテル先端を持つ。
3. カテーテルは、あらかじめ洗浄水を吸引し、内腔のすべりを良くしておく。
4. 吸引圧をかけないまま、カテーテルを挿入する。
5. 十分な深さまで挿入後、粘膜を傷つけないように吸引圧（10.7～15.9kPa）をかけ、カテーテルを引きながら吸引する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - ・取扱いについては教育された医療従事者が適切に行なうこと。
- ＊患者の体質や解剖学的構造を考慮し、適切なサイズのカテーテルを選択すること。
 - ・必ず滅菌をした上で使用すること。
 - ・孔を開けるなどの追加加工を施したり、導尿以外の目的に使用しないこと。
 - ・万一製品にキズ、異物、劣化など発見した場合は使用しないこと。
 - ・刃物等鋭利な器具に触れると切断する恐れがあるので注意すること。
- ＊気管吸引用を使用する場合は、特に清潔に留意し、カテーテルは口腔・鼻腔内吸引用と気管吸引用を区別して使用すること。
 - ・気管吸引用に用いるカテーテルの外径は、気管内チューブ内径の2分の1以下とすること。
 - ・成人の吸引圧は10.7～15.9kPaが安全かつ効果的であり、少なくとも26.6kPaを超えないこと。また、吸引時間は短時間（一般的には10～15秒以内）で行うこと。
 - ・痰の粘調度が高い場合は、加湿、水分補給、ネブライザー吸入などを考慮すること。また、効果的な吸引のため、呼吸理学療法や体位変換にて気管支上部に痰を移動させることも併用する。
 - ・使用後は2次感染以降の防止に留意し、安全な方法で処分すること。
2. 相互作用
 - ・薬品によっては膨潤したり、浸透・着色したりする場合があるので確認の上使用すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
 - ・直射日光、高温多湿、水ぬれを避けて冷暗所に保管すること。
2. 使用の期限
 - ・包装の使用期限欄を参照のこと。

【包装】

1本／袋入、12袋／箱入 2.5mm(3EG)～8.5mm(15EG)
100本／袋入、1袋／箱入 4.0mm(6EG)～4.5mm(7EG)

【主要文献及び文献請求先】

1. 主要文献

- (1) 荒川創一.尿道カテーテルによる感染を起こさないための看護：
INFECTION CONTROL,5(3)42-45,1996
- (2) 畑尾正彦 他 監修. 導尿、ナースのためのチューブ管理マニュアル：学研,200・205,1998
- (3) 都筑正和 監修.消毒剤の使い方 4 消毒の実際：医歯薬出版.
殺菌・消毒マニュアル,66・97,2000

2. 文献請求先

＊株式会社 イズモヘルス 品質保証課

〒399-7104

長野県安曇野市明科七貴6057番地

TEL：0263-62-2392

FAX：0263-62-4548

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：株式会社 イズモヘルス

〒399-7104

長野県安曇野市明科七貴6057番地

TEL：0263-62-2392

製造業者：株式会社 イズモヘルス